

平成26年8月7日
四国地方整備局
土佐国道事務所

一般国道32号大豊町内における地すべりの詳細調査を受けた 対応方針

国道32号大豊町内寺内地区において、昨日(6日)、高知大学農学部笹原教授にご参加いただきながら、国土交通省職員が現地で詳細な調査を実施しました。

○調査日時:平成26年8月6日13:00~18:30

○調査メンバー:高知大学農学部 笹原教授

四国地方整備局 道路構造保全官、地域河川課長

土佐国道事務所 副所長

調査結果を踏まえ、土佐国道事務所としては以下のように対応します。

○国道32号で5日に亀裂が発生した箇所については、6日に観測してみると、5日より変位が約2mm程度大きくなっていました。なお、国道32号で変状が見受けられる範囲自体は5日と変化はありません。このことから、現在の規制区間での通行止を継続しながら、亀裂の変化を監視します。

○今後、台風11号の襲来が予想されていることから、厳重な警戒が必要であり、少なくとも台風11号の影響がなくなるまでは、当該区間の通行止を継続します。

○国道32号上の亀裂の変化を計測するために、現地に計測機器を6日に設置し、計測を開始しました。また、当面は1日1回の頻度で亀裂の変状を目視でも確認します。

なお、国道32号上で地すべりの兆候が見られ、避難指示が発令された東寺内地区および西寺内地区については、国道上まで影響が及ぶ可能性は低いとの見解を笹原先生からいただいています。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.6 防災力向上プロジェクト」の取組に関連します。

お問い合わせ先 (○主な問い合わせ先)

国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所 電話 088-884-0359(代表)

○副所長(改築) おきうえ 沖上 茂人 (内線)204

管理第一課長 かたおか 片岡 正彦 (内線)431

【詳細調査状況】 一般国道32号(高知県長岡郡大豊町大字寺内)

現地調査チームの調査状況(平成26年8月6日撮影)



国道32号の調査状況



路面の被災状況



林道法面の調査状況



ガードレール基礎の被災状況